

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	日常を楽しむことを「煮詰める」方針をもって行事を進めています	
内容①	年に一度開催されるお楽しみ会(発表会)をはじめ、行事は、発表に向けてつくりあげるのではなく、日々の保育の中で子どもたちが遊びを通して楽しんでいることを「煮詰める」ことがこころがけられています。一人ひとりの誕生日を祝うイベント、法人のバスを使用した遠足、交通機関を使用しての遠出等々様々な体験ができる行事が企画されています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる
タイトル②	ビジネスマナー＝「思いやり」として職員への周知がなされています	
内容②	就業規則等諸規程が完備しており、職員行動規範には法人・園が期待する職員像が記載されています。特にビジネスマナーについては、「思いやり」として位置づけ、独自にマニュアルを作成し、保育園としての接遇や留意事項を定め、保育者としてあるべき姿を提示できるよう取り組んでいます。また各種マニュアルの設定のほか、園独自のルールや平井マニュアルと題した養護マニュアルも策定されています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル③	多様な活動を子どもたちの情操につなげるよう取り組んでいます	
内容③	音楽(リトミック)、英語教育、漢字教育については、専門講師および学校法人である法人本部から指導を受けた職員によるカリキュラムが実施されており、子どもたちの可能性を広げ、多様な教材や絵本の読み聞かせを通じて自由に表現できる力を身につけられるよう取り組んでいます。そのほか異年齢交流、地域とのふれあい、自然との調和などを通して多様な活動を子どもたちの情操につなげるよう努めています。	